

多可町商工会報

はばたき Vol.17

謹賀新年



- 百日どりを追う
鳥富（加美区豊部）竹本初美さん
- 商工会長新年のあいさつ
- 播州織関連事業報告
- 「多可まちスクール」を振り返って
きはら呉服店 太平金属㈱
- 各部の事業報告
青年部・女性部・未来創造実践部
- 商工会の事業紹介
- 新会員の紹介
- お知らせ 発祥の地めぐりスタンプラリー
北はりま職業訓練センター
西脇納税協会



元気の源は

お客様の笑顔と

おしゃべり

竹本初美さん 鳥富（加美区豊部）

百日どりを追う

鳥富

やきとり

「地鶏・銘柄鶏好感度コンテスト2017」で全国2位に輝いた「播州百日どり」。商工会でも昨年「播州百日どりグルメフェア」を開催し、知名度も注目度も上昇傾向にあります。

そんな「播州百日どり」のおいしさをずっと提供し続けている、『焼き鳥屋のおかん』の話を伺ってみました。

みんなに食べてもらいたい
と思ったのがきっかけ

当店は平成元年5月18日にオープンしました。JAの養鶏所に勤めていた主人が、「この鶏（百日どり）をみんなに食べてもらいたい、お店で提供してみたい」と思ったのが開業のきっかけです。

仕事として養鶏所で鶏をさばっていたので、以前から誰よりも百日どりの素晴らしさに気づいていたのだと思います。

うまみを引き出す
努力を継承

当時、開業のことは何も知らされずに「よく色々な焼き鳥屋に連れて行ってくれるなあ」と思ってたんです。そしたら、いつの間にか、赤ちやうちゃんがぶらさがってびっくり！

努力を継承

今の店主である息子は、大阪での修業後、平成7年から事業を受け継いでくれました。百日どりの良いところは「鶏肉そのものに旨味があり、柔らかい」こと。その特性を鶏に活かすために味付けは極力控えめにして旨味を引き出しています。主人のこだわりを息子は自分なりの考えで引き継いでいます。まさに息子の努力の賜物です。

実はごはんにもこだわりがあって、お米は自家製で精米もしているのので「美味しい」と評判なんです。

天候の都合で鶏の発育が悪いこともあって、部位が不揃いになることが年に何回かありますが、そんなに大きな問題ではありません。辛かったことは、鳥インフルエンザの影響で、「この鶏食べても死なへんやろな」などの皮肉を言われた時は、肥育者や百日どり達の気持ちを考えると、

胸が張り裂ける思いがしました。でも、開店当初から右も左も分からないまま今日まで働いてきました。が、「百日どり」は美味しいと言ってくれるお客さんの笑顔があるから頑張っただけなんです。



たくさんの人を笑顔にするメニューの数々

趣味は「おしゃべり」で
「元気の源です」

時には、お客さんから悩み事など相談を受けることもあるんです。年の近い年配の方はもちろん、若い子と話ができるのは特にうれしいですよ。76歳のおばあにとってはね(笑)。

とにかく、お客さんと話ができること。「おいしい」と言ってもらえることが励みになります。趣味は「おしゃべり」ですからね。だからお客さんとしゃべることは楽しい。ただ気を付けていることは、毒舌だけど傷つけることがないように心配りはしています。休日は話す相手が友達に代わり、一緒にお茶しながらずっとおしゃべりしています。

百日どりは
笑顔の応援食材

お客さんは比較的年配の方が多く、特に60代が多いですね。鍋料理やつくねなどは味はもちろんです。歯にも優しいと喜んでもらっていますよ。商工会では「敬老の日」発祥の地にちなんで、「百日どりを」「高齢者の応援食材」と謳っています。年配者も含めて家族連れでもよく来られるので、喜んでもらえていると思います。世代を超えた応援食材と言えかな。

息子に感謝、
働けることに感謝

働けることに感謝

開店当初は次女が手伝ってくれていましたが、長男が勤めていた会社を辞めて、跡を継いでくれた時はホントうれしかった。今、自分のこととして、地域にも貢献したいと頑張ってくれているので、このままずっと続けてほしい、ただそれだけ。そのためにも老体にムチ打ってしっかり応援していきたいですね。年をとってもこうやって活躍する場があるというのは、本当にありがたいものです。これからも身体が続く限り、お客さんとの「おしゃべり」を栄養源に働き続けていきたいものです。



ねぎま串焼きのように、息子夫婦仲良く

笑顔で取材に応じるおかん



年頭あいさつ

町との連携で相乗効果を



多可町商工会
会長 小寺博史

皆様におかれましては、ご家族おそろいで麗しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

思い返せば昨年の「年頭に集う会」で多可町の交通インフラ、つまり高速道路の整備について断腸の思いで提案いたしました。後藤課長が「日本一の経営指導員」の称号を得た上京の機会に、当時の藤井国土交通大臣政務官と面談させていただき、以前からのその思いを強くしたものであります。

おかげさまで7月24日、戸田町長や町議会議員団と共に上京し、藤井比早之代議士の計らいで首相官邸の菅義偉官房長官らに「多可町に高速道路を」と要望書を届けることができました。今年は再選叶った藤井代議士の支援を得て、更なる誘致活動を手掛けたいと願っております。地区内の商工業の振興については、「経営発達支援計画」の推進を事業の中核に据え、伴走型の経営支援で実績を積み上げてまいります。勿論、行政には商工会への支援を求めてま



霞ヶ関に届けた要望書「多可町に高速道路を」

いりますが、地域の商工業者も、納税はもとより地域のための税外負担も大切な社会的役割との認識を深めていただきたいと願っております。そのことが、吉田新町長が取り組もうとされている各種団体との「連携」に最大限の協力をすることにつながり、相互理解を深めながら相乗効果が高まるものと確信しております。平成30年の戌年が町民の皆様にとっても会員皆様にとっても、善き年でありますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

「僕らの播州織」のものづくりに興味深々

播州織販路拡大支援事業報告



播州織のやさしさを表現した
ブースデザイン



ブース内におさまりきれない
ほどの盛況ぶり



丁寧に時間をかけて商談

播州織の販路拡大支援として第84回東京インターナショナルギフトショー（9月）とファッションワールド東京2017（10月）に出展。（いずれも会場は東京ビッグサイト）ギフトショーでは「最終商品」、ファッションワールドでは「生地素材」を出展し、両展示会とも沢山の商談を得る事が出来た。

参加者からは「産地のものづくりに興味関心を示すバイヤーが多かった。地方が見直されつつあると感じた。播州織もまだまだ可能性があると思った。」といった感想が聞かれた。是非、この流れを産地内にも拡大し、効果的な播州織の販路拡大に繋げて行きたい。

未来の服飾デザイナーが競う「100体の播州織シャツ展」



多くの来場者で賑わうシャツ展

去る11月5日（日）産業展において繊維部会では、本年度も上田安子服飾専門学校ファッションクリエーター学科の生徒らが制作した「100体の播州織シャツ展」を開催。感性的豊かな数々の作品を展示すると共に、来場者に作品投票を呼びかけ上位5作品を選考した。

また、トップクリエイター学科の生徒が手掛けた「パリコレコレクション公式展示会「トラノイ」への出展作品」も展示。ハイレベルな作品展示に「素敵な作品が楽しめた」「播州織をもっと広めてほしい」と多くの来場者から感想や応援を頂いた。



パリコレ出展作品 ど・れ・に・投票しようかな



まずは「機会の創出」が第一歩

～多可町版まちゼミ『多可まちスクールスタンプラリー 2017』を振り返る～

去る8月1日から31日までの1ヶ月間開催した『多可まちスクールスタンプラリー』。2年目を迎えたこのイベントを参加店はどう感じているのか。関連セミナーに積極的に参加された木原さんと藤田さんに話を伺った。



太平洋金属 (中区牧野) 【ステンレス・アルミ加工製造】
代表取締役 藤田英樹さん
(スクール内容「ステンレスによるオリジナルアクセサリー作り」)

会社そのものを
間近で見てもらえる
良い機会

当社は製造業であり、商業が主体のこのイベントは少し畑違いのものではありましたが、多可町にはこんな企業があることを知ってもらうことを第一の目的にしていたので、小学生から大人の方まで幅広い年齢層の方々にお越しいただき、会社のPRができたので良かったと思います。地道なPR活動は、将来に向けての先行投資だと考えられています。取引先のお客様とは違い、一般の方ですので、従業員は緊張していましたが、会社は緊張していません。普段は変わったように思いました。普段は一般の方は来られないので従業員間で慣れ合いが生じていましたが、何か新しい風が吹き込んできた感じでした。アクセサリーのサンプルを作ってみるなど、お客様を迎え入れる準備をしたり、従業員はおもてなしの心を改めて学べたのではないかと思います。スクールに参加された方は、目的を持って来られた方が多かったです。



ちいさな目は真剣そのもの

ね。中には、「アクセサリーの修理はできないか」といった問い合わせも受けました。当社ではできないので、同じ参加店だったイイオさんをお勧めすることはできたのでホッとしました(笑)。他にも、「ステンレスの加工品を販売してはどうか。」とのアドバイスもいただきました。今はまだ考えていませんが、さらに要望が大きくなれば対応できればと思います。

異業種のセミナーに多くの学び
私自身も学ぶことが多かったです。参加店対象の「事前勉強会」や「フォロアップセミナー」は商業が基本のセミナーでしたが、製造業の立場としては新鮮な気持ちで臨むことができました。接客に関することなど学ぶ面も大いにありましたね。このイベントは、参加することによって企業のPRができるので、展示会などとはまた違った、会社そのものを間近で見てもらえる良い機会だと思います。こちらで日程を決めて、会社に来てもらえるので、まさにホームで試合ができるという感じですね(笑)。
当社もそうですが、人材不足で悩む多くの企業にとって、その悩みを解決できる一つのアイテムになると思います。ぜひ多くの企業にも参加してほしいですね。



きはら呉服店 (加美区寺内) 【呉服・衣料販売】
木原亜沙美さん
(スクール内容「自分で着られるゆかたの着つけ」)

機会がないだけ
機会を創れば
喜んでいただける

浴衣は「ちよつと面倒」というイメージもあるので、心配していましたが、浴衣を着たいと思っていた人が想像以上にいらつしやつたことに驚きました。聴いてみると「機会がないだけ」だと。機会を創れば喜んで着ていただけることが分かりました。
パンフレットとチラシで2回に亘って新聞折込があった成果か、西脇からの初来店もありました。当店でもフェイスタックへの投稿や声かけなどで積極的に広報活動し、さらに新しいお客様も増えました。今度、多可まちスクールに参加する時は、また和服を中心としたものを考えたいですね。浴衣や着物是非日常を味わえるので。例えば和服を着てテンプルマナーを勉強したり、写真撮影に行ったり。いつもとは違った空間を演出することで楽しんでもらいたいです。

コラボレーションで更なる可能性が
イベント終了後に参加店対象の「フォローアップセミナー」に参加したので、事業所間でのコラボレーションスクールというアイデアも出てきて楽しかったです(笑)。カフェや写真店とのコラボはやってみたいですね。
多可まちスクールのようなことは、以前からやってみたくてという気持ちもありましたが、店単独では広報活動もなかなか広範囲にできないし、難しいだろうなと構えてしまっていたので、本当にありがたいです。呉服店らしく、お客さんと和服でつながりを感じることができたのもうれしかったです。実は、スクールに追加いただいた方と一緒に着物問屋主催のイベントに参加することになったので、これも多可まちスクールがなければ実現しなかったことなのでとても感謝しています。



参加者で記念撮影

町内のお店にはもつとたくさん参加してほしいですね。多可まちスクールをうまく利用すればいいと思います。参加したほうが絶対おトクですよ、絶対(笑)。お店同志で切磋琢磨して、たくさんのお店で多可町を盛り上げていければいいなと思います。

Activity Report

各部の活動・報告

女性部



部長 北藤豊美
(豊松園)

好評「サツマイモスティック」で

11月5日、ふるさと産業展において、女性部では「さつまいもスティック」と「Happyストーン」づくりで出店した。10時開始ととも揚げつつけること5時間、競合店が並ぶ中、最後の最後までお客様が途切れることなく完売。出店を通じて仲間との交流と地域の方たちとの触れあい「活力の源」となった。



毎年大人気の「さつまいもスティック」

秋の京都を満喫！

11月21日視察研修として東寺の「弘法市」を訪れた。骨董品のほか屋台のお店やお漬物、手作り工芸品、古着など千本以上のお店が軒を連ね、まるでフリーマーケットと縁日が合体したような雰囲気だった。平日なのに大盛況で、色んなお店を探す宝探しのように思った以上に乗しめた。昼食後は「京友禅」を体験。染料を取ったハケで垂直に円を描くように染めるのがコツで丁寧さが大事とのこと。色の重ね方で風合いが気になり変わる友禅の体験は感動的だった。天候にも恵まれた最高の一日を過ごせた。



あたたかな日差しの中で

青年部



部長 山口直正
(山口工務店)

景品狙ってパーン！大盛況

11月5日、ふるさと産業展において、青年部では、昔懐かしい射的と綿菓子を出店。射的では、青年部員の企業から募った「個性あふれる協賛品」と豪華景品を取り揃え、大人から子どもまで列が絶えることがなかった。



絶対取るぞー！



えらい人になったな～

補助金等の採択について興味深々！

10月例会において、「経営施策活用事例勉強会」を開催。パネルディスカッション形式で、経営革新やものづくり補助金等の採択を受けた青年部員から「苦労したこと」や「取り組んでよかったこと」などの生々しい経験談を聞き、活発な質疑と意見交換が行われた。



「なるほど」と興味深く聞き入る

未来創造実践部



部長 坂本規文
(サカモトメタル株式会社)

私たちがちよつといと思ふモノ。衝撃のデビュー飾る。

今年度事業として、「町内に住む若手女性の声を地域活性化に活かしたい。」との思いから立ち上げた若手女性グループ「mumlife (ママライフ)」。

初回会議から大いに盛り上がり、予想をはるかに上回るスピードで、いきなりドレッシングの商品開発に着手。

試食販売として産業展に出品すると、PRボランティアとして協力いただいた多可高校生の活躍もあって完売。若手女性から生まれるアイデアの素晴らしさを実感できたとともに、今後のグループの活躍も期待できる幕開けとなった。



商品名は「多可町の美味しいが『ぎゅっ』と詰まった食べるドレッシング」



来場者の視線を集めた魅力的な商品ディスプレイ



多可高校生もPRに活躍



さっそく新聞社の取材を受けるmumlifeメンバー4人

身の丈に合った IT の導入を 徹底的に IT 活用セミナー ～ IT 尽くしの 3Days ～



3日間ともお世話になった川野講師



3日間で延べ 52 人が受講

IT で集客促進と売上向上を目指すべく、3日間 IT 尽くしのセミナーを開催。
「IT はあくまで手段」という言葉どおり、便利な IT ツールを紹介しつつ、それを活用するためには「自社の課題や強みを理解し、抽出、分析することが大切」と、3日間を通じて何度も同じメッセージが聴かれた。
「お金をかけずとも、知恵と汗を駆使して、身の丈に合った IT の導入を」とのアドバイスに多くの受講者が共感し、「課題に向き合おうと思った」との声も聴かれ、前向きな姿勢を見ることができた。

マスコミが伝えたい情報とは！ プレスリリースセミナー

プレスリリースとは、取材に来てもらえるよう、マスコミに情報提供すること。昨年引き続き、広報ジャーナリスト福満ヒロユキ氏を講師に迎え、マスコミが欲しいが情報の伝え方をレクチャーしていただいた。
楽しく、分かりやすいお話しに、受講した皆さんからは、「早速プレスリリースに取り組みたい！」との声がたくさん聞かれた。



つつい講師の話術に引き込まれ

創業塾で一層、 創業意欲が高まりました！

最終日は参加者が各自のビジネスプランを発表。「自分を成長させる機会につながった」と創業意欲を更に高めた。



ディスカッションで見えてくる



真剣な眼差しで…

創業するための経営知識やビジネスプランの作成を通じて創業する力を養成するセミナーを多可町との共催で開催。
実際に多可町で創業された方から夢の実現に向けた体験談と講座内容で創業への心構え、事業計画書のまとめ方、資金計画、販路開拓などを学んだ。受講生同士で情報交換する場面もあり、「創業ノウハウが学べました。」「コミュニケーション能力を高めることができた」などの声も聴かれた。

事業承継…いつ考えますか。 「今でしょ」

政府は地域経済の活力が損なわれないうちに、これまでも増して「事業承継」を推進していくことが必要としています。商工会では県商工会連合会の主任 C A 天崎氏を招き、円滑な事業承継の方法など事例を交えて解説。
経営者の高齢化が進む現在において、事業承継に関する計画的な取組みは早期に着手すべき問題であることや事業承継が進まなければ、経営者だけではなく従業員的生活や取引先との関係など地域社会にも大きな影響を及ぼす問題となることが伝えられた。



顔は怖いが
説得力はある天崎講師



事業承継のタイミングは「今でしょ」

平成 29 年度
技能功労者並びに優良従業員表彰式

技能功労者表彰
4人

多可町長表彰
(勤続20年以上)
13人

多可町商工会長表彰
(勤続10年以上)
25人

去る、11月29日(水)多可町交流会館(加美区)に於いて、永年に渡り職人として専門知識を活かして仕事に取り組み、後進への技術の伝承、育成に尽力された方々に贈られる技能功労者表彰。

地域の企業、事業所に永年勤務され、地域商工業の発展に尽くされた従業員の方々の功績を称える優良従業員表彰式を行った。



多可町の経済をこれからも支えてくれる26人の受賞者

Friendship



さあ喰うぞ!!と意気込む35人の参加者

去る11月12日(日)商工会会員交流委員会(増田福一委員長)は、新鮮な海の幸を味わい会員相互の交流を深めてもらおうと、淡路島方面への日帰り旅行を開催した。

当日は、秋晴れのさわやかな天候の中、国指定無形重要民俗文化財である淡路人形浄瑠璃を鑑賞し、永年受け継がれた伝統ある舞台芸術に触れた後、南あわじ市のうずしお温泉うめ丸で「福良3年とらふぐ」を満喫して、和気あいあいと和やかに交流を深めることができた。

参加者の一人からは、「日頃食べることができない新鮮な海の幸を沢山いただけたら、個人では行くことがない淡路人形浄瑠璃を見ることが

秋晴れの淡路島で会員交流 淡路3年とらふぐに舌鼓!元氣な明日への活力充電!

でき、とても有意義な一日だった。」
また、「同じ町内で仕事をしていてもまったく知らない会員の方々にいろんなお話ができ、お知り合いになることができました。」「次回も楽しい企画をお願いします。」と感想を語っていただいた。



お待ちかねの「3年とらふぐ」



優勝!!ガッツポーズの平位剛史氏(平位織布(有))

去る12月6日(水)商工会会員交流委員会(増田福一委員長)は、昨年引き続き2回目の会員交流ゴルフ大会を滝野カントリー倶楽部八千代コースにおいて盛大に開催した。

当初、10月22日の開催を予定していたが、大型台風の影響により延期、12月の開催となった。

大会当日は、冬の厳しい冷え込みの中、50人の参加者による熱いバトルが繰り広げられた。

優勝は、平位剛史氏(平位織布(有))でスコアはグロス89、HD19、2、ネット69、8。



寒さも吹き飛ばすぞいショット



スコアを見ながらあれこれと

商工会会員交流ゴルフ大会 二代目チャンピオンに平位剛史氏(平位織布(有)有限会社)

プレー終了後の懇親会では、「あの時のOBがなかったら...」や、「あの時のバットが...」等、「レバー」と「タラ」がピールの友になっていた。

フロンティア株式会社

【布団製造卸】



営業部 藪根レオ氏

まだまだ、若輩ですが色々な事を吸収して勉強していきます。

世の中の動向を理解して、売れる商品や人の役に立つ商品を作っていきますのでよろしくをお願いします。

住所：多可郡多可町八千代区中野間 1061-3
TEL：0795-37-2837 FAX:0795-37-2838
Email:fronter@amber.plala.or.jp
定休日：土・日・祝

藤原整経 代表 藤原栄司氏

【織物整経業】

住所：多可郡多可町加美区豊部 95
TEL：0795-35-0223 FAX:0795-35-0414
定休日：日・祝

藤井建築設計事務所 代表 藤井謙昌氏

【建築設計】

住所：多可郡多可町加美区寺内 421
TEL：0795-35-0124 FAX:0795-35-0255
Email：fujisekkei@leto.eonet.ne.jp
定休日：日・祝

もうめぐりましたか？

昨年9月から「発祥の地めぐりスタンプラリー」を開催中。
本年1月31日(水)で終了。終盤を迎えようとしているが、今からでも遅くはない！
多可町が誇る3つの「発祥の地」に関連した商品が100名様に当たる！
参加店でお買い物、食事、体験をしてスタンプ2個を集めて、是非ご応募を。



このパンフレットを持ってGo!



北はりま職業訓練センターからのお知らせ

「プロが教える！播州織入門講座」を開設

北播磨地域の地場産業として歴史と伝統を誇る基幹産業「播州織」の商品企画から出荷、品質評価に至るまでの全工程の基礎知識を学ぶ講座です。

日程：平成30年1月16日(火)・18日(木)・23日(火)・25日(木)の4日間 いずれも午後1時30分から4時30分まで

場所：北はりま職業訓練センター(西脇市平野町189-1) 講師：兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター職員 定員：25人(申込期限：1月10日(水))

受講料：6000円(雇用保険未加入者の場合は9000円)

*訓練修了者には兵庫県知事認定の「修了証書」が交付されます。

*雇用保険加入者は申込書に雇用保険被保険者証のコピーが必要です。

【申込・お問い合わせ先】

北はりま職業訓練センター ☎(0795) 23・4326

西脇納税協会からのお知らせ

所得税無料申告相談の開催

平成29年分の所得税確定申告の相談会を開催します

◎内容 所得税確定申告書の作成及び提出ができます

◎日時 2月8日(木) 午前10時から12時
午後1時から4時

◎会場 ベルデューホール1階会議室

この申告無料相談会は西脇納税協会が近畿税理士会西脇支部に税理士の派遣をお願いし実施するものです。

(注意) 不動産や株式の譲渡に関する申告や贈与税の申告などの取り扱いはありません。

ご不明な点は西脇納税協会にお問い合わせください。または、納税協会ホームページをご覧ください。

公益社団法人 西脇納税協会

☎(0795) 22・2842